

項目	入力欄	入力の際の注意
科目名	教養演習	必須
教員名	高橋有紀	必須
授業概要とねらい	<p>テーマ：＜他者の生きづらさ＞と共存する地域社会 行政政策学類に入学する方の中にはよく「地域の人のためになりたい」と言う方がいます。が、「地域」ってどこで、「地域の人」って誰なんでしょう。 このゼミではそんな問いについて、「自殺」「カルト」「犯罪者の更生」「迷惑施設」という一見何の関係もなさそうであって、どれも真面目な人からは「ヤバそう」に思われるという共通点を持つテーマを基に、書籍や資料、ドキュメンタリー、現地調査などを通じて考えます。 「地域」には、これらを「ヤバそう」と思う人も、まさにその真つただ中でもがいている人もいます。そんな多様な「地域の人」の喜怒哀楽が共存できる地域社会を実現するには、どのような制度や政策、そして自らを含めた人々の在り方が必要なのか。そんなことを考えることで、「地域の課題の解決」を掲げる行政政策学類で4年間学ぶうえでの学問的および人間的基礎を築くことが最終的な狙いです。</p>	<p>必須 全角300字以内</p> <p>セル内で改行する場合は、「Altキー」を押しながら、「Enterキー」を押してください。</p>
望ましい水準	<p>文献や資料の趣旨を的確に把握し、その内容を文章や口頭でわかりやすく他人に伝えることができる 他人の報告や発言の趣旨を把握したうえで、自らの考えや感想を述べる ゼミでの学習や経験を通じて、自分なりの考察を深めることができる</p>	<p>必須 全角200字以内</p> <p>セル内で改行する場合は、「Altキー」を押しながら、「Enterキー」を押してください。</p>
授業計画	<p>・はじめは、テキストとして1冊の本（『生き心地の良い町 この町の自殺率の低さには理由がある』（岡檀著、2013年））の輪読を通して文献の読み方、レジュメの作り方、報告の仕方を習得するとともに、ゼミでの議論に慣れてもらいます。また、国や地方自治体の自殺対策に関する統計資料や報道についても、図書館やPCでのそれらの採り方の指導と並行して、検討する予定です。</p> <p>・上記がひと段落した後（前期の終盤以降を予定）は、ある宗教団体を扱ったドキュメンタリー『A』『A2』（いずれも森達也）の視聴や、福島大学をも巻き込んで大きな社会問題となった「福島自立更生促進センター」の建設問題に関する資料や施設見学を通して、地域社会における多様な問題についてさまざまな人の立場から検討します。</p> <p>・後期の後半は、再び前掲のテキスト『生き心地の良い町』を読み、ゼミやその他の授業で学んだことを踏まえて改めて感じたこと、考えたことについて各自でまとめ、発表してもらいます。「まとめ」はレポートを想定していますが、小説や詩、音楽、絵画・漫画、映像などの形でまとめることも（ゼミ内で皆に発表できることを前提に）柔軟に認めます。</p> <p>・各学期に1度ずつ程度、学外からゲストを招いてお話を聞く機会を設ける予定です。また、このゼミで扱うテーマは教員が担当している3、4年ゼミや現代教養コースのゼミの内容とも一部重複するため、それらのゼミと成果を報告しあひ交流する機会も持てたらと思っています。</p> <p>ゼミは基本的に、報告者による報告の後は、教員やゼミ生が問いかけたことに自由に回答する対話形式を進めます。「レポート」はしませんので、単に「議論に強くなりたい」人は他のゼミをお勧めします。これからの時代は「他人を論破できる」強さより、「弱さ」や「迷い」を共有できる「強さ」なしには生きていけないというのが教員の持論であり、そうした「強さ」を身につけてもらいたいと考えています。</p>	<p>必須 15回分記載してください</p> <p>セル内で改行する場合は、「Altキー」を押しながら、「Enterキー」を押してください。</p>
教材・教科書	『生き心地の良い町 この町の自殺率の低さには理由がある』（岡檀著、講談社、2013年）。生協に入荷予定です。その他については、必要に応じてコピーを配布したり、図書館のデータベース等を通じた入手方法について指導したりします。	全角200字以内
参考図書		全角200字以内
参考URL		半角100字以内
授業以外の学習	<p>当たり前ですが、報告やまとめの準備は各自で授業外に行ってください。 また、日ごろからニュースや新聞、県や市の『広報』などに目を通すこと、ジャンルを問わず本や音楽、映画、絵画などに触れ自分なりの感覚や感情を大切にすることを心掛けてください。 教員は法学専攻の所属ですが、ゼミで扱う話題はあらゆる分野と密接に関係しますので、ゼミ以外の授業でもぜひ幅広く意欲的に学んでください。</p>	<p>必須 全角300字以内</p> <p>セル内で改行する場合は、「Altキー」を押しながら、「Enterキー」を押してください。</p>
成績評価の方法	<p>・ゼミは出席しないことには何の力も身に付きません。つきましては、各学期とも正当な理由なく4回以上欠席した者は単位取得を認めません。また、出席はしていても、「担当回に報告をしない」「議論や調査に参加する意思が見られない」「他のゼミ生の学びに不当な不利益を与える」等の行為が続き改善が見られない場合には、単位取得を認めない場合があります。 ・上記以外の者については、下記「成績評価の基準」に基づき、A～Dで評価します。</p>	<p>必須 全角300字以内</p> <p>セル内で改行する場合は、「Altキー」を押しながら、「Enterキー」を押してください。</p>
成績評価の基準	<p>・上記の通り、各学期につき4回以上欠席した者や、授業への取り組みに問題のある者は単位取得を認めません。 ・それ以外の者については、「報告回の報告の内容や様子」、「報告以外での議論や調査への取り組み」、「まとめの内容」を基に、上記「望ましい水準」の達成具合に応じて、A～Dで評価します。上記「望ましい水準」の、について最低限習得できていることが評価以上の条件となります。</p>	<p>必須 全角300字以内</p> <p>セル内で改行する場合は、「Altキー」を押しながら、「Enterキー」を押してください。</p>
オフィスアワー	毎週月曜日15時～16時。それ以外でも都合が合えば対応しますので、事前に連絡してください。	<p>必須 全角100字以内</p>
留意点・注意事項	上記の通り、授業は「対話」を基本に進めます。話すのが苦手でも構いませんが、話そうと聴こうとする意欲を持って臨んでください。テーマは決して明るく楽しい話題ではありませんが、穏やかな雰囲気できゼミができたと思っています。	全角100字以内
その他		全角100字以内
ディプロマポリシー大区分1	行政政策学類のディプロマポリシー	<p>必須 ディプロマポリシーはプルダウンで選択してください。（セル右側の をクリック） 大区分を選択するとそれに対応する小区分が選択できるようになります。 大区分と小区分をセットで1つ以上選択してください。</p>
ディプロマポリシー小区分1	問題発見・調査・解釈能力（行政政策学類）	
ディプロマポリシー大区分2	行政政策学類のディプロマポリシー	
ディプロマポリシー小区分2	解決能力・応用能力（行政政策学類）	
ディプロマポリシー大区分3	行政政策学類のディプロマポリシー	
ディプロマポリシー小区分3	表現力・コミュニケーション能力（行政政策学類）	
ディプロマポリシー大区分4		
ディプロマポリシー小区分4		
ディプロマポリシー大区分5		
ディプロマポリシー小区分5		
ディプロマポリシー大区分6		
ディプロマポリシー小区分6		
ディプロマポリシー大区分7		
ディプロマポリシー小区分7		
ディプロマポリシー大区分8		
ディプロマポリシー小区分8		
ディプロマポリシー大区分9		
ディプロマポリシー小区分9		
ディプロマポリシー大区分10		
ディプロマポリシー小区分10		
ディプロマポリシーその他		全角999字以内